



福祉・介護の仕事の魅力発信 高校（定時制課程）への出前授業

北海道福祉人材センター

－北海道介護福祉士会との連携－

目的

福祉に関心を持つことや、職業選択の一つとして福祉を視野に入れるきっかけとなるよう、高校生に福祉が身近な地域や日常にあることを知ってもらうもの。

主な特徴と内容



出前授業

介護福祉士会が、講師を担当！

定時制課程のある高校において、生徒に福祉・介護の仕事の紹介、移乗・移動介助や福祉用具を体験してもらう出前授業を実施。



高校への訪問

生徒の進路に関わる学校関係者への福祉や福祉職場への理解促進。



主な成果、効果



- 令和7年度は、札幌市内の2校で出前授業を開催し、49名の生徒が参加。
- 生徒に勧められて参加した生徒が半数以上だったが、体験後のアンケートでは「福祉分野で働きたいと思った」「就職の選択肢の一つとして興味をもった」が18%、「福祉・介護に少し興味をもった」が51%になった。

PRメッセージ

福祉サービスを必要とする人が増え、福祉の担い手を確保する必要性は増す一方、福祉・介護分野の人材不足は深刻を極めていきます。

教育分野と連携し、次世代を担う生徒や学生に、福祉・介護の仕事や福祉職場を知ってもらう取り組みを進めます。